

災害時救助に力強い支援

富士市内アマ無線家の「非常通信協力会」発足

12月の防災訓練でデビュー

418個人
10団体
78歳多彩な顔ぶれ



災害時の救助活動を側面から支援する富士市内のアマチュア無線家によるボランティア組織「アマ無線家非常通信協力会」が、このほど発足した。阪神淡路大震災を教訓にした組織。当初のメンバーは百八十二個人、四団体。設立準備会の段階で既に一部メンバーが九月の防災訓練に試験的に参加しているが、十一月一日の地域防災訓練で本格的にデビューする。

初代会長に高沢さん

大規模災害の場合、有線網、救護物資の手配などとの連絡網が寸断されるケースが多く、アマチュア無線はこうした状況下で大きな威力を発揮する。阪神淡路大震災でも被災者の救助連絡を担った。

同市は、国と県の防災計画にアマ無線の活用項目が入り、市でも地域防災計画

東海地震対策編改訂版に明記したことで、これまで市内のアマチュア無線家に組織化を呼び掛け、設立準備

を発したボランティア組織「アマ無線家非常通信協力会」

富士市中央町

を進めてきた。

設立総会は同市中央町のラ・ホール富士で行われ、市内の事業所クラブ、個人

がアマチュア無線を愛しむ約百人が出席した。会則を

決めた後、初代会長に高沢勝彦さん(五七)、小林製作所

副会長に西村繁雄さん(五七)、日産自動車、同田中隆

徳さん(五七)東芝富士工場を

選び、事業計画を決めた。

同協力会のメンバーの内

訳は男性百六十五人、女性

十七人。十歳の小学生から

七十八歳まで多彩な人たちが

加入している。同協力会は

引き続きメンバーを募集し

ていくため、アマ無線家の

参加を呼び掛けている。問

い合わせは市役所防災対策

課(電話(五七)〇一七三)

へ。

同市にとどまらず、アマ無線

家による協力会の組織化は

県内で十三カ所目。設立当

初から百八十人も加入する

のは初めてだといつ。

果たされたかどうか、もう少し検証する必要がある」と述べ、県連レベルでの復党にはしばらく時間がかかるとの考えを示した。

同県連は杉山氏の復党に関して、5・7区で自民候補が全票当選を果たすための賛成票を条件としていたが、6区では栗原裕康氏が三位にとどまり、重複立候補の比例区で当選して辛うじて議席を確保した。

斉藤会長はまた、県内の衆院選の結果について「協力的体制をつくったことには勝利し、分裂は避けたい」とは

敗北したため定数強調した。

グリーンツーリズム協議会を松崎町設立

松崎町が